

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アルテミラ製缶株式会社			住所 〒 112-8525 東京都文京区後楽1-4-25日教販ビル
本票作成	部署名：岡山工場 製造ユニット 機器技術チーム			
主たる業種	分類コード	23	業種名：非鉄金属製造業	
事業の概要	飲料用アルミ缶、アルミボトルの製造 従業員126名			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地
	①	岡山工場		岡山市東区瀬戸町南方150番地
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数) 1 所      ●車両台数 (②該当の場合) 台)			

温室効果ガス排出量	基準年度(令和5年度)		(令和6)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	28,637 t CO <sub>2</sub>		22,424 t CO <sub>2</sub>	28,351 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量	
	①	岡山工場	22,424 t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	
			t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和6年度(1箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 4.6 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 各種アルミ缶の生産数を、エネルギー消費量を基準見合いに換算し算出した数	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		26.732 t CO <sub>2</sub> /百万缶)	27.966 t CO <sub>2</sub> /百万缶)	26.465 t CO <sub>2</sub> /百万缶)

ベンチマーク指標の状況	(該当事業者のみ記入)		
	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)

【削減状況の自己評価】				
アルテミラ製缶株式会社 環境方針である「人と社会と地球に優しい飲料容器の提供」を基に、「環境重点活動の推進」、年間目標である「エネルギー原単位 前年比1%削減」から設定した。				
削減状況については、「原単位の実績が前年度より4.1%増」となった。それに伴い、「原単位当たりの排出量も前年度より4.6%増」であった。主な要因としては、原単位基準となる「アルミ缶の生産数」の減産によるものであった。				
計画期間中の削減実績値が△4.6%となった為、「目標未達」とした。この結果は、生産数の増減により削減率が大きく左右される為、次回以降、5箇年度目標削減率達成に向けて注視していく。				

**【推進体制】**

アルテミラ・ホールディングス株式会社 グループ安全環境部を上部組織として、アルテミラ製缶株式会社 岡山工場 サイト環境委員会が組織されている。工場長をサイト経営者、製造ユニット長をサイト環境管理責任者として、委員会メンバーが参画し活動している。ISO14001は2001年3月に認証。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
アルテミラ製缶株式会社 岡山工場	(令和6年度実施分) ・ 照明をLED器具に更新し、28.8 kWhの電力量を削減した。  ・ 生産設備のエア漏れパトロール活動を実施し、56.12 kWhの電力量を削減した。  ・ 生産設備の待機停止時のモーター自動停止制御やモーターのインバーター制御の見直し、及び、待機停止時の圧空自動停止制御等を実施し、25.63 kWhを削減した。  ・ 生産設備の乾燥炉の放熱ロス対策として、オープンジャケット化を実施し、22,451 N·m <sup>3</sup> の都市ガスを削減した。  (今後実施予定分) ・ 照明をLED器具に更新する。 (未試算) ・ 生産設備の待機中の圧空使用量の削減を進める。 (未試算) ・ 生産設備の搬送設備におけるバキュームレス化を進める。 (未試算) ・ 生産設備の休転後の立上げ効率化を進める。 (未試算)

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**